

＜本年度会長方針＞ 夢や希望を語り合おう

地域を育み、大陸をつなぐ

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 岩崎 征一 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 松本 哲朗 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

＜2010-2011年度 R.I.テーマ＞

R.I. 会長 レイ・クリンギンスミス
Ray Klingensmith

第1292回例会

ロータリー財団月間
平成22年11月25日(木)
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 会員62名
53名中40名出席
出席率75・47%
前々回出席率94・23%

ロータリーシンガ
「奉仕の理想」

指揮者 岡村 隆徳
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

NPO法人・気象キャスター
ネットワーカー会員 気象予報士
岩名 美樹さん

ニコボックス

小笠原さん、松永さん、お久しぶりです。
地区大会おつかれさまでした。
岩崎 征一
杉本 英夫

久しぶりです。
小笠原さんこんにちは。
浅井 隆宣・鬼頭 茂成

小笠原さんありがとうございます。
尾上 昇

小笠原さんよりよろしく。
岡田 尚彦

久しぶりに小笠原さんに会いました。
荻葉 賢一
昨日介助犬の講演会をお寺でもさせていただきました。渡辺 観永

今年もたくさん少なくなりました。
堀江 英弥
上海に行ってきました。

尾上さん前田さんおつかれさま。
小澤 幸男

尾上さん前田さん、ヒルウォーキング楽しませていただきました。
近藤宏一郎

ありがとうございます。
岡村 隆徳

尾上さん前田さん、23日はお世話になりました。
春日井和良

変なお世話になりました。
渡辺 観永

ヒルウォーキングのみなさま、大
岩崎 征一

会長挨拶



日本銀行名古屋支店

日本銀行名古屋支店は、明治30年(1897)愛知、三重、岐阜を業務区域とする全国で6番目の支店として現在の伏見付近に開業

しました。

その後、明治37年(1904)

に現在の栄交差点北東

角にレンガ造りの素晴らしい形で

新築されました。

新しい日本銀行名古屋支店は、

戦後、昭和24年(1949)に現在の位置に移転され、

手狭になったことから、

昭和39年(1964)に改築され現在の形になりました。

設計を担当した松田重平氏は名古屋工業大学を卒業後コーネル大学に留学し、その後、リビングストン建築事務所勤務し、その事務所が担当した東京、三井本館の工事監理の為帰国しました。

その後、日本銀行、プリンストンや三井物産等の、大規模な民間建築の設計活動を行いました。開口部が少ない石張りの重厚な外観が特徴でした。



卓話

「天気予報の裏話」

NPO法人・気象キャスター
ネットワーカー
気象予報士 岩名美樹さん

天気の変りやすい我が国日本では、天気予報は重要な話題の一つです。そこで、明日でも使える話題をと思い「天気予報の裏話」と題してテレビの現場秘話や近年天気予報が当たるようになった理由、地球温暖化の現状などを紹介させていただきます。

1. テレビの裏話

CBCの夕方のニュース番組「イッポウ」の天気予報では、メインキャスターの大石アナと2人でお伝えするコーナーもありました。小柄な大石アナと大柄な私が並びと気になるのが身長差。そこで、大石アナはシックレットブーツを履いて、差が際立たないように工夫されています。

また、天気図の解説は緑色の無地の板の前で行っており、私には



天気図が見えていません。そのため、解説するときはIPPPOウのオンエアが流れているモニターを見ながら、緑の板を指していました。テレビの現場では、視聴者が見えているものが見えなかったり、視聴者に見えないところで工夫がなされていたりしています。

2. 天気の話

「気象予報士」といって国家資格があります。1993年の気象業務法改正で誕生し、当時は天気予報の自由化のキャッチフレーズで報道されました。情報化社会の進展に伴い、気象情報への要望は高度化してきました。それに応えるには気象庁と民間気象会社などの連携が必要ですが、気象情報は防災情報と表裏一体の関係にあるため、民間気象会社の質の確保も必要となり、「気象予報士」制度が定められたというわけです。

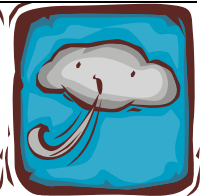
ただし、昔に比べると天気予報の精度が随分向上しました。これは



主に観測地点の増加と技術の進歩に因るものです。1974年に地上気象観測システム「アメダス」が導入され、現在では約1300ヶ所の地点で観測が行われています。また、2008年から観測手法はより高度化され、10秒毎の気温観測や（従来は10分間隔）、最大瞬間風速の観測（従来は10分間の平均風速のみ）が可能となりました。そして、上空の気象観測技術と観測地点も増加しており、現在では世界約900箇所、1日2回、同時刻（日本時間の午前9時と午後9時）に観測が行われています。これらのデータは気象庁のスーパーコンピュータに集約され、予報が計算されるわけですが（上空の観測データを利用した計算時間は約4時間）、このスーパーコンピュータの技術改良は現在でも行われており、予報精度は益々向上していくものと思われます。

3. 地球温暖化の話

今年のお天気で印象に残ることといえば、夏の記録的猛暑ではないでしょうか。太平洋高気圧の勢力が例年より強かったことなどが影響していますが、それだけでなく地球温暖化も原因の一つと考えられています。近年は温暖化やヒートアイランド現象の影響で都市の気温が高くなり、名古屋でも2010年で平均気温が2.8度



も上昇しました。その影響は身近な所に現れており、例えばサクラの開花・満開日が平年より早くなる年が増加し、力エテの紅葉は遅くなってきています。生物季節の変化だけでなく、大雨の降る回数も増加し、今後は海面上昇や台風の大化、干ばつや洪水などが増加することも予想されます。

『本当に温暖化は起こっているのか』については様々な見解がありますが、気温が上昇していることは事実ですので、個人レベルの対策も行っていく必要があると考えています。

第2700地区 地区大会

於 ウェスティンナガヤックス
ホストクラブ/あまRC

- 20日(土) 大会第1日目
 - ◆ 地区指導者育成セミナー
 - ◆ 地区諮問委員会
 - ◆ 本会議(1日目)
 - ◆ R-1会長代理歓迎晩餐会
 - 21日(日) 大会第2日目
 - ◆ 本会議(2日目)
 - ◆ R-1会長代理顕彰昼食会
 - ◆ 記念講演
- 講師/財部 誠一氏
(経済ジャーナリスト)

ファミリープログラム

21日(日)(11時~14時)
昼食&名古屋おでの鑑賞
於 か茂苑

国際ロータリー・ニュース

2010年11月16日
ロータリーと国連が
共通の目標に向けて活動

11月6日、「ロータリー国連デー」の一環として識字率向上、水、保健、青少年活動に関するパネル討論が行われ、1100人以上のロータリアン、国連関係者、ロータリーの青少年プログラムの参加者が出席しました。ニューヨークの国連本部で毎年行われるこの会合では、ロータリーと国連による協力関係が祝われ、国連の活動を援助し、世界中の人々の生活を向上させるロータリーの識字、水、保健の分野におけるプロジェクト

「ロータリーは世界という舞台で活動している」といって、そして多くの団体がロータリーと協力したいと考えていることが明らかになってきています」とボイド元会長は述べます。「米国開発庁などの大きな組織と協力関係を結んでいるロータリーは、大規模なプロジェクトを通じて、世界中の人々の生活に特大の変化をもたらしていくことができるのです」

討論のパネリストには、国連で事務総長に対する水対策顧問をしているフレデリック・ピシユケさんや、ペプシ「財団のクラリア・リオさんといった人物も含まれていました。

(記事: Ryan Hyland 抜粋)
★『国際ロータリー』日本語版
<http://www.rotary.org/ja/mEDIAandrews>

12月6日(木) 例会の案内

卓話

「お伊勢の2010年」

水上神社 宮司

小木豊稔司さん

紹介者 岩崎 征二さん

広報委員会

近藤 明美・前田 隆久
近藤宏一郎・杉浦 令淑

*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。